

様式

草加かがやき特別支援学校の活性化・特色化方針
(平成29年度～)

1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男) 243 (女) 123	計 366
ホームページ	http://www.kagayaki-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅 西口下車 徒歩20分					
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間を40分にして授業数を多くしている。小学部は自立活動、生活単元学習、遊びの指導を中心に、個々の発達状況に合わせた教育活動を行う。中学部は共通の自立活動の時間帯を設け、個々の課題に合わせた指導を行う。高等部は生活基礎、生活総合、生活応用の3類型を置き、其々の教育課程で個々の教育的ニーズに合わせた教育活動を行う。 					
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・3学部合同で運動会・文化祭を行う。運動会には全員の気持ちを一つにする全校応援合戦や高等部全員リレー、地域の方や保護者との交流種目がある。文化祭のきらきらまつりは、全学部のステージ発表及び作品展、中学部・高等部による作品頒布等、学習の成果発表の場となる。オープニングにはマスコットキャラクターの「きらきらちゃん」が登場する。 ・部活動には球技部があり、時期に応じてバスケットボールとサッカーを行う。 ・修学旅行、校外宿泊学習、社会体験学習などとおして経験値を高める。 					
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観、懇談会、PTA行事等で保護者との連携を強める。 ・コミュニティカフェを年12回開催し、地域との絆を深める。 ・近隣の小中学校及び高等学校と交流及び共同学習を行う。 ・居住地区(草加市・越谷市の一部・川口市の一部)の小中学校で支援籍学習を行う。 ・全校奉仕活動で近隣の清掃と美化に取り組む。 ・ボランティア養成講座を開設し、積極的にボランティアの協力を得る。 					
進路について	<p>【平成28年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業就労15名、就労移行支援8名、就労継続支援A型2名、就労継続支援B型15名、生活介護13名、在宅5名。(高等部3年生58名) <p>【デュアルシステムと現場実習・校内作業実習の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に高等部1年生複数名が、地域の企業で5日間の集団での現場実習を行う。 ・高等部3年生の企業内就労内定者が、定期的に週1回または3週間以上の実習を行う。 ・企業・事業所の協力を得ながら、現場実習、校内作業実習を年3回行う。 <p>【小学部・中学部の進路について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ本校の中学部・高等部へ進学している。 					

(児童生徒数：H29.4.1現在、進路はH28年度卒業生の状況)

本校の魅力！

一人一人を大切に、保護者や地域に信頼される学校
地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校
児童生徒、教職員の笑顔あふれる学校



教職員から

・169人の教職員が一丸となって、皆さんの豊かな学びを支えています。

生徒会長から

・みんな仲良しで、一人一人の笑顔がかがやく、明るい学校です。

きらきらちゃんから

・楽しい運動会や、きらきらまつりに、みんなおいで～
まっているからね～ ㄱ



QRコード



【学校ホームページ】

本校の 特色

- 学校教育目標 豊かな心、元気な体、生きる力を育て、一人一人が輝く
 教育内容の特色 キャリア教育の視点に基づいた縦（12年間）と横（3年間）の系統的な指導の充実
 地域との連携 保護者や地域と連携した開かれた学校づくりの推進

小学部

- こころもからだも元気な子
- 色々なことにチャレンジしようがんばる子
- 自分の気持ちや思いを伝えられる子
- 友だちと仲良く楽しく活動する子

中学部

- 基本的な生活習慣を確立し、意欲的に生活する生徒
- たくましく生きていくための、心と体を持った生徒
- 友だちや教員とのやりとりを通して、自分の気持ちをよりよく表現できる生徒
- 自他の役割を意識し、社会で生きていくための生徒

高等部

生活基礎類型

生活総合類型

生活応用類型

- 自立した生活を目指し、仲間や地域社会と積極的に関われる生徒
- 家庭生活や職業生活に必要な能力を高め、進路現実に向けて実践する生徒
- 主体的に物事を考え行動に責任を持つ生徒

私たちは、一人一人を大切にしている指導の充実のために

『チームティーチングを大切に、クラス・学年・学部・学校のチーム力を高め、指導にあたります。』
そのために

- 担当者相互のコミュニケーションを通じて共通理解を図ること
- 担当者間及び管理職への報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）を徹底すること
- お互いの指導観を尊重し合い、信頼関係を築くこと



小中高一貫した系統性ある指導の充実

- ・将来構想委員会、教育課程検討委員会、研究部が連携し、12年間の系統性をもった指導への充実・改善を図る。
- ・キャリア教育の全体研修及び先進校視察を行う。

個に応じた支援・指導

- ・自立活動専任がアドバイザーとなり自立活動の授業の充実を図る。
- ・保護者との合意形成に基づいた合理的配慮の実施。
- ・教職員の専門性の向上
- ・実態把握を的確に行い、それに応じた目標、学習内容、手立ての設定と実施。

保護者・地域への情報発信と連携の強化

- ・授業参観・懇談会を新たに実施し保護者との連携を図る。
- ・ホームページは計画的に最新情報を掲載し、情報発信していく。
- ・校内掲示を充実させ、より積極的に情報発信を行う。
- ・地域に開かれたコミュニティカフェを定期的に開催する。
- ・支援籍、学校間交流の円滑な実施。

安心・安全な教育環境の整備

- ・毎月の安全点検の実施と迅速な修繕に努める。
- ・適正な書評簿の管理の徹底。
- ・避難訓練、引渡し訓練、交通安全指導の実施。
- ・食物アレルギー対応、救急救命法、不審者対応訓練の実施。
- ・教職員倫理確立を目指す研修の実施

地域への貢献

- ・近隣の奉仕活動を全校で行い、社会貢献を図る。
- ・特別支援教育のさらなる充実を図る。



草加かがやき特別支援学校は、児童生徒の笑顔あふれる学校を目指します